



新時代へ
躍り出そう

Sustainable ^{AI} _藍 Land
TOKUSHIMA

正法寺川流域水管理行動計画について

令和7年12月
徳島県 河川政策課

目次

1.概要	水管理条例、行動計画、正法寺川の概要	P.3
2.環境	水質調査、旧吉野川からの導水	P.9
3.教育	学校などにおける水教育	P.12
4.環境	魚道の設置	P.14
5.まとめ	目標とする将来像の実現に向けて	P.19

水管理条例

水管理条例とは

H29.4 施行

- 本条例は、気候変動による影響が懸念される中、県民の生命、身体及び財産を保護するとともに、本県における「水戦略」の考え方を明確化し、水管理の「道標」となるもの



基本理念

- 県民の安全・安心が確保できる強靱な県土づくり
- 県民が健全な水循環の恩恵を最大限に享受できる社会づくり
- 水教育の推進

5つの柱

3つの基本理念に則り、水管理を推進する施策を「5つの柱」で構成

治水

利水

災害対応

水循環及び環境

水教育

とくしま流域水管理計画

第7条

水管理条例

- 水管理を総合的かつ計画的に推進するため、県の全域及び規則で定める流域ごとに計画を定める
- 水管理に関する課題、目標、水管理の推進に関し必要な事項を定める
- 県民、学識経験者、関係行政機関その他の関係者の意見を反映することができるよう必要な措置を講ずる。

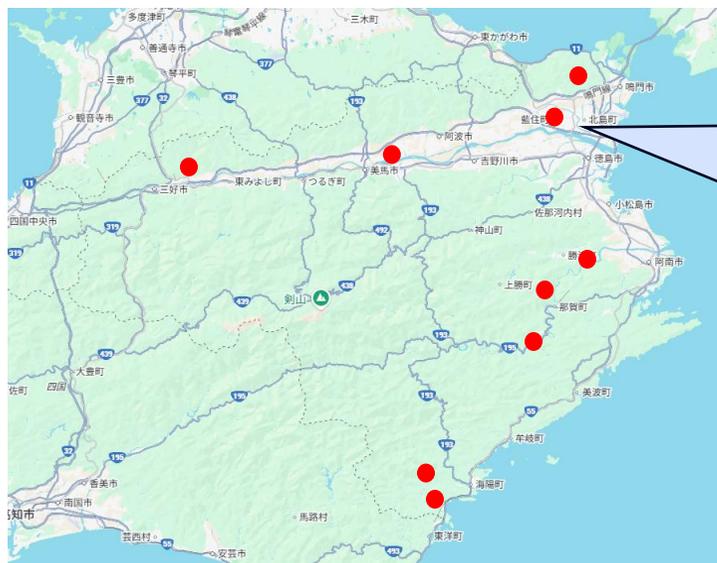
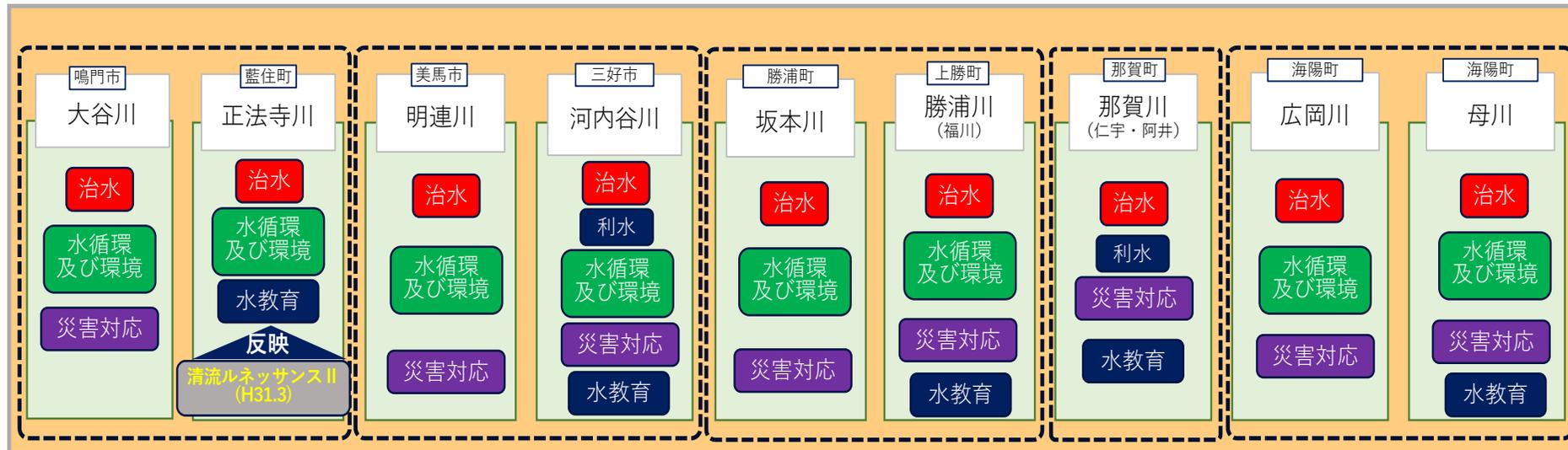


水管理の 羅針盤 !

流域単位で地域の皆様とともに幅広く「課題」を拾い出し「具体的な取組」や「各々の役割分担」を明確にする「流域水管理行動計画」を策定

流域水管理行動計画

現在、県内9河川で策定



今回の発表では

「清流ルネッサンスII」を引き継いだ
「正法寺川」流域水管理行動計画
について発表

正法寺川の概要

概要	環境
教育	まとめ

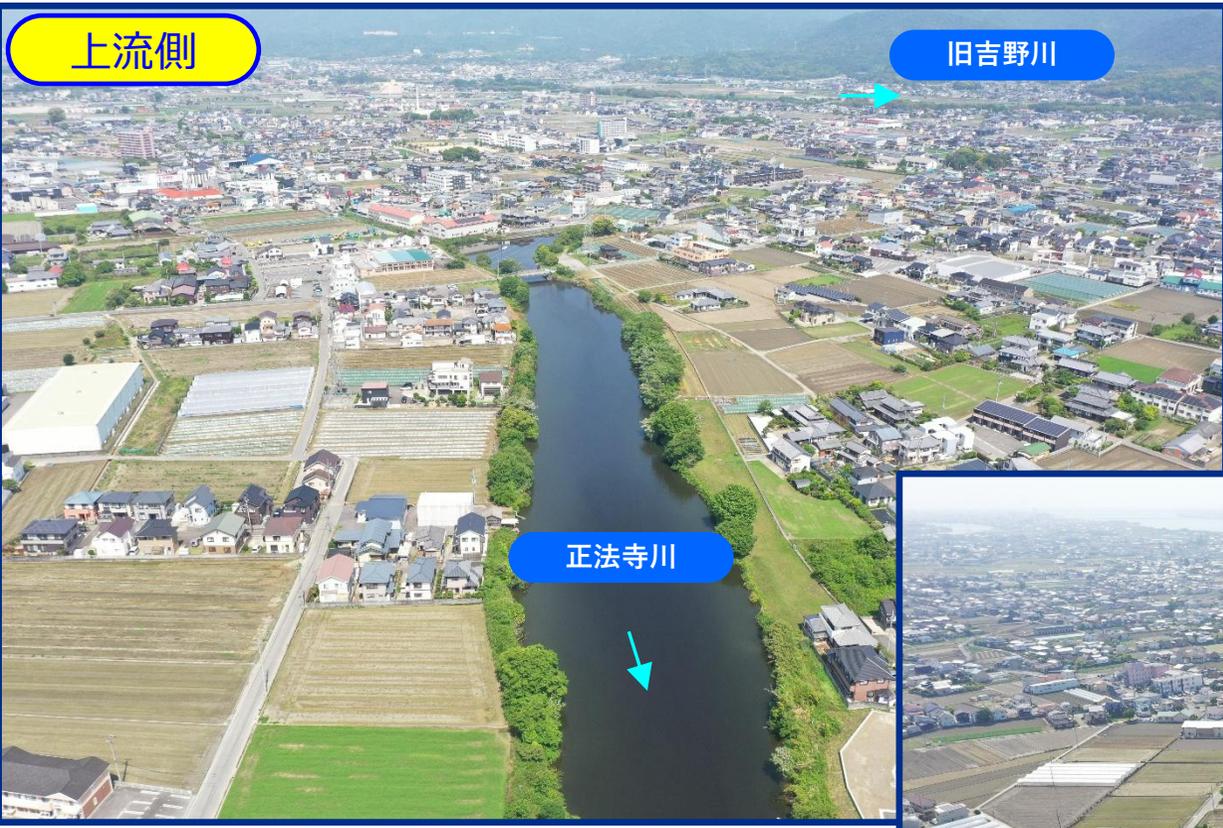
- 一級河川 吉野川水系 正法寺川 (県管理河川)
- 流域面積 A=8.05km²
- 流路延長 L=5.2km



正法寺川は、
・水源としての山を持たない都市河川
・生活雑排水などの影響で水質悪化

正法寺川の概要

概要	環境
教育	まとめ



・昭和43年度から河川改修
・河口から3 kmまで改修完了

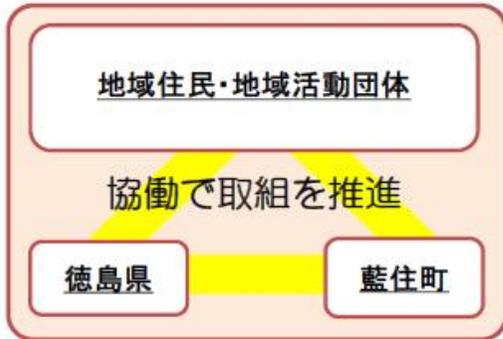
正法寺川の概要



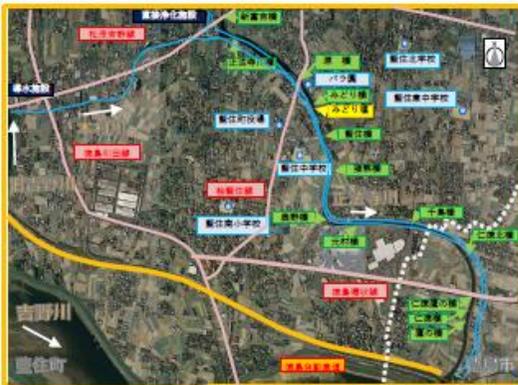
第1 計画について

藍住町中心部を流れる正法寺川において、沿線人口の急激な増加に伴う水質悪化や水害の激甚化・頻発化に備え、県と町・地元が協働して、地域に密着した水管理に取り組む。

1. 推進体制



2. 対象範囲



3. 実施期間

令和6年度～令和8年度

※計画全体は3年毎に見直し・毎年検証

第2 地域の課題と将来像

流域の水管理に関する課題に対し、行政と地元が目標を共有しながら取組を推進。

流域の現状と課題	◇河川環境の悪化 ・周辺地域の都市化による生活雑排水の流入、ゴミの投棄 ・みどり堰による生物の移動連続性の遮断	<p>ゴミの投棄による水質の悪化</p>	目標・将来像	◇住民が河川と親しみながら進める地域振興につながる“水辺空間の創出” ・下水道事業、導水、直接浄化、清掃活動の実施 ・水質調査、魚道の設置、合併浄化槽の普及促進
	◇水教育のさらなる充実 ・地域活動の充実 ・防災知識の理解や醸成	<p>豪雨の激甚化・頻発化</p>		◇次世代を担う子供たちをはじめ、地域住民に“水教育を推進” ・フィールドワーク、環境学習、避難訓練の実施等
	◇激甚化・頻発化する豪雨災害 ・気候変動による豪雨災害の激甚化・頻発化			◇“流域全体で洪水氾濫に備える” ・ファミリータイムラインの作成支援 ・ハザードマップの作成等

第3 具体的取組内容

各主体が役割分担しながら、一体となって取組を推進。

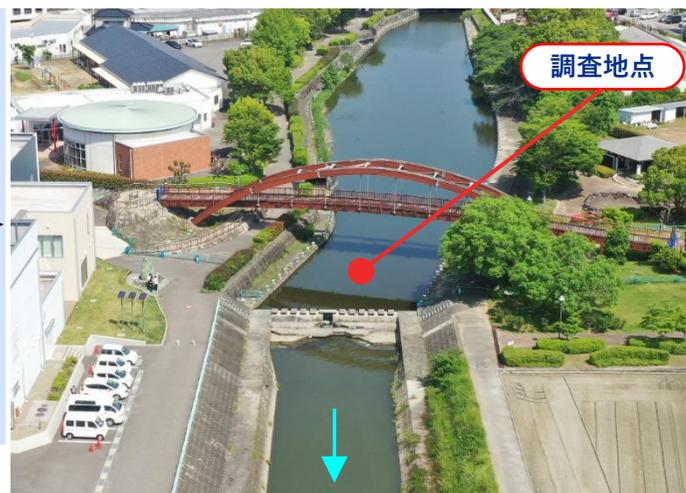
水循環及び環境創造の取組	実施主体	取組指標	水教育推進の取組	実施主体	取組指標
下水道整備の推進	町	別紙1の通り	学校などにおける「水教育」	地元	別紙1の通り
合併浄化槽の普及促進	町		防災に関する知識や理解の醸成	県・町・地元	
直接浄化施設の稼働	町				
旧吉野川からの導水	町	別紙1の通り	治水対策の取組	実施主体	取組指標
水質調査の実施	県		ファミリータイムラインの作成支援	県	別紙1の通り
魚道の設置	県		洪水ハザードマップの作成・作成支援	県・町	
河川巡視・美化活動	県・町・地元				



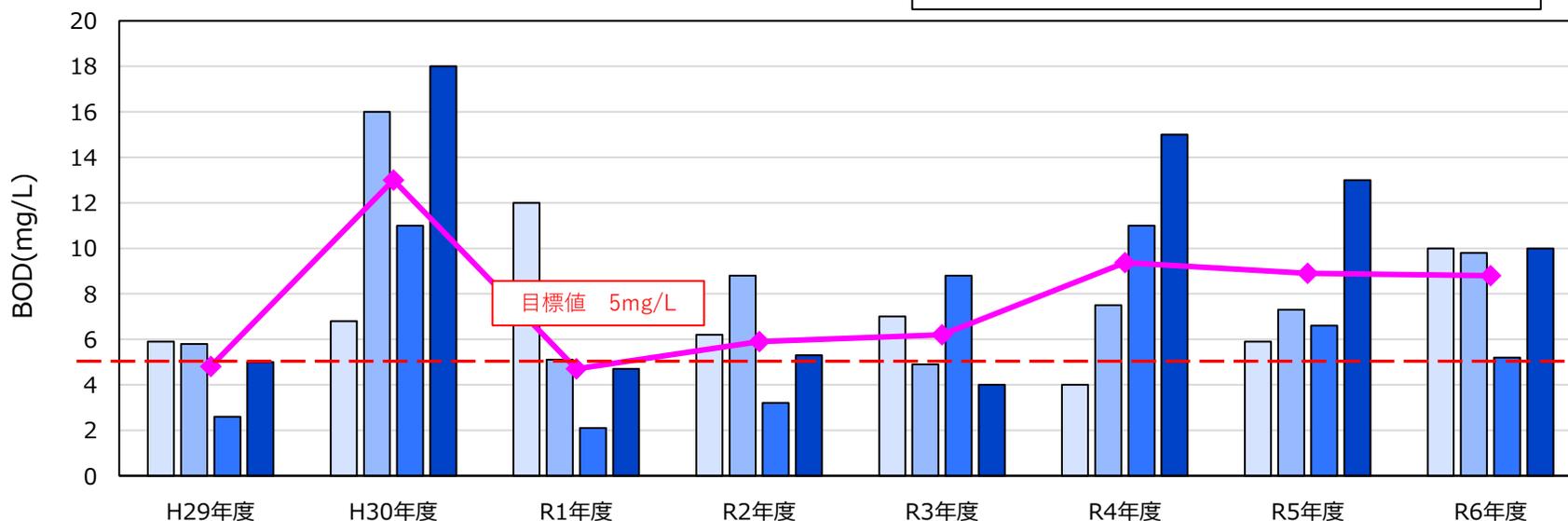
水質調査の実施【県】

調査概要

- 測定項目：BOD（生物学的酸素要求量）
- 調査時期：春（4月）夏（7月）
秋（10月）冬（1月）
- 水質目標：BOD 5 mg/L以下



調査結果（H29～R6）



旧吉野川からの導水【町】

概要	環境
教育	まとめ

(ポンプの運転、導水量及び取水可能水位)
 第3条 浄化用水の導水量は、毎秒 0.2 m^3 以下とし、ポンプの運転は、吉野川高瀬橋地点水位が 0.73 m 以上(月平均日最大流量 $67\text{ m}^3/\text{s}$ を満足する水位)で第十樋門水位が 2.40 m 以下(洪水時の第十樋門の閉じる水位)の範囲で行うことができるものとし、藍住町役場内の表示盤がポンプ運転禁止または、ポンプ異常となっていないことを確かめた上で運転するものとする。



導水状況 (R7.6.18)



高瀬橋

導水施設

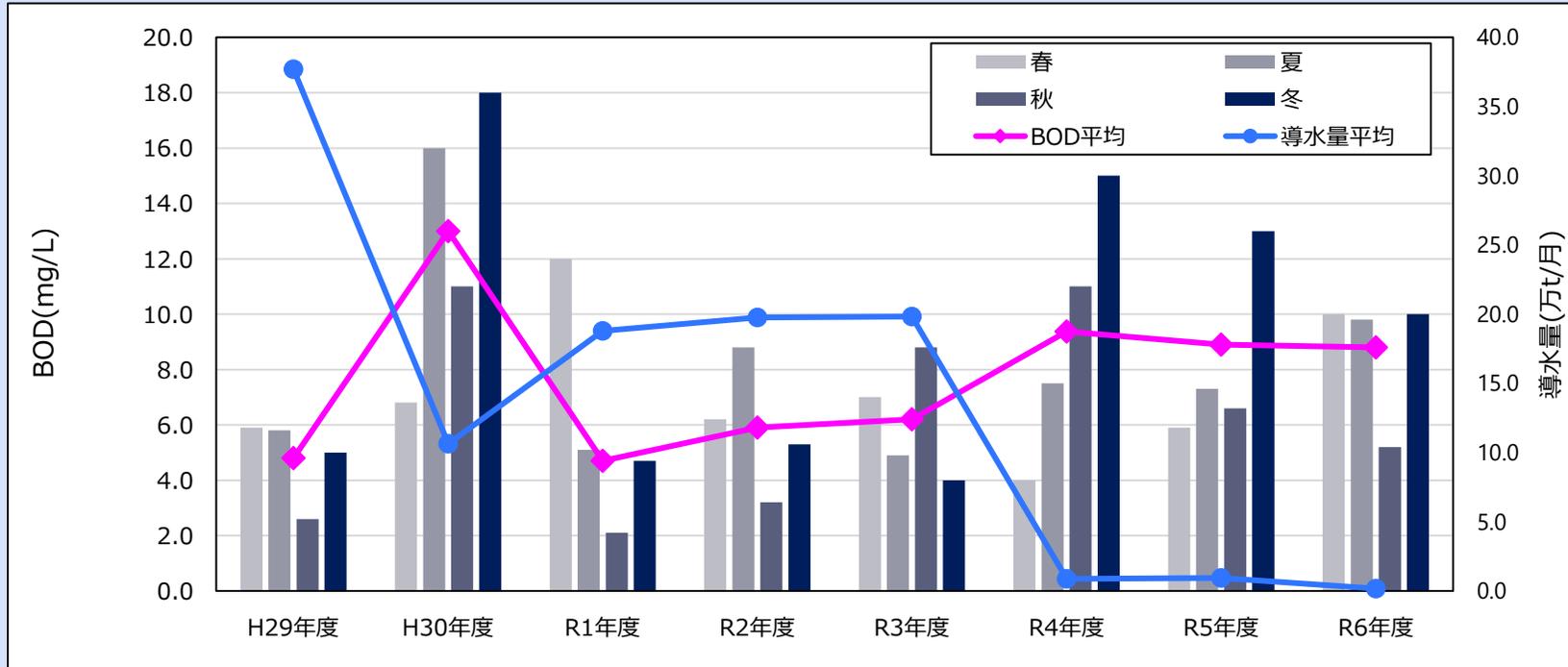
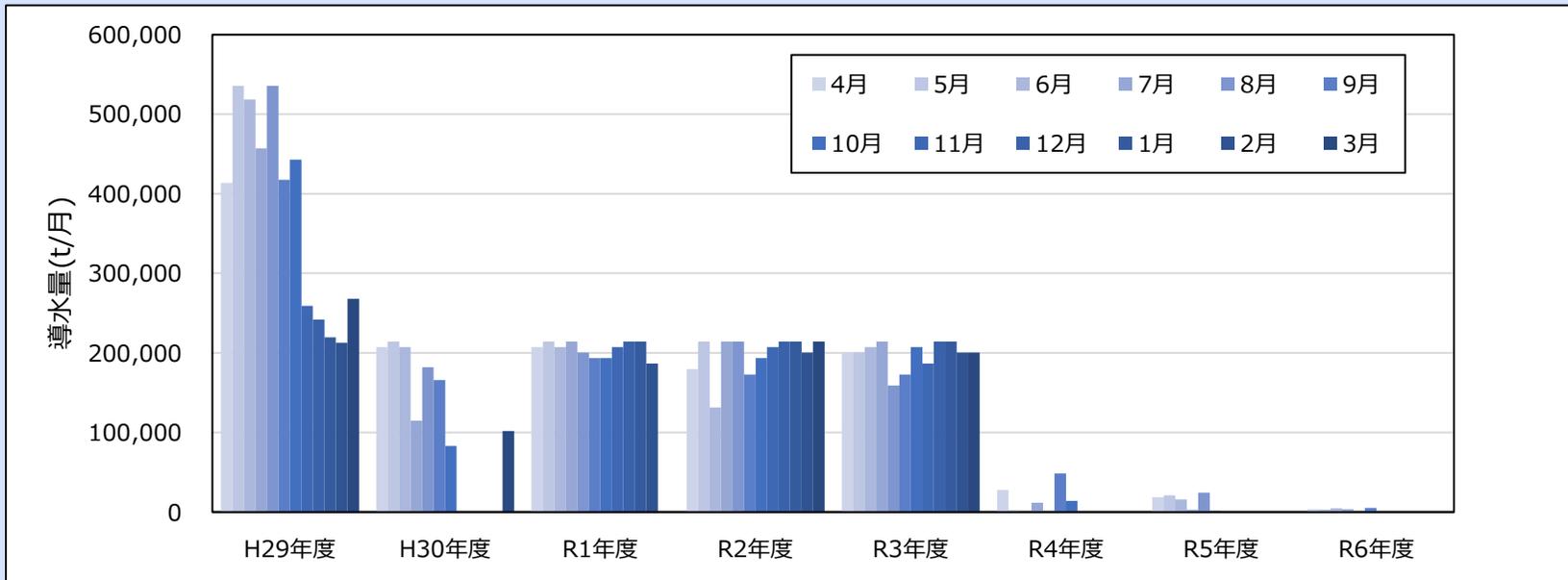
旧吉野川

吉野川

支川 本村川

正法寺川

【参考】 正法寺川における導水量とBODについて





魚道の設置【地域住民・大学・県】

概要 環境
教育 まとめ

調査概要 (R1~)

- 調査項目：魚類、底生動物、両生類、は虫類
- 調査時期：夏、秋
- 調査地点：St.1（汽水域）、St.2（湛水域）



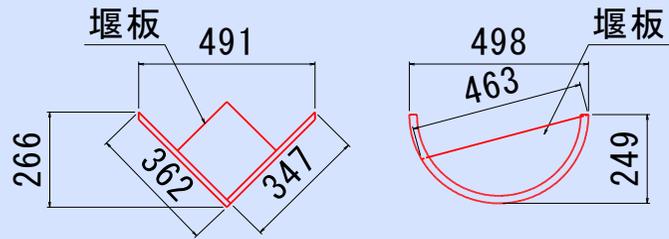
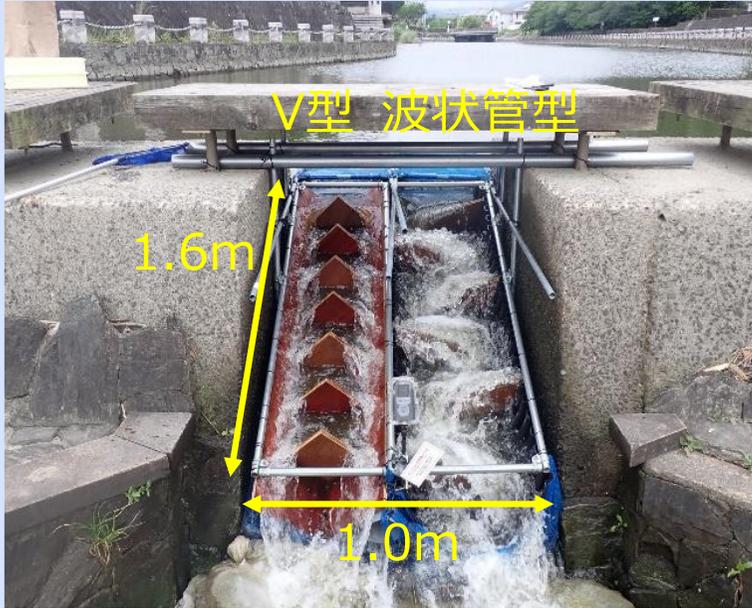
正法寺川 生物（魚類）調査結果表 (R1)

綱	目	科	種	生活型	希少種		国外外来種	R1夏季		総計	R1秋季		総計	合計	
					環境省RL	徳島県RL		St. 1	St. 2		St. 1	St. 2			
硬骨魚	カライワシ	イセゴイ	イセゴイ	汽海					0		1		1	1	
	コイ	コイ	コイ	淡					1	1		1		1	2
			ゲンゴロウブナ	淡	EN				29	29				0	29
			ギンブナ	淡					2	2	4	4		4	8
			タイリクバラタナゴ	淡			○	8	265	273	2	177	179	452	
			ハス	淡	VU					0		1	1	1	
			オイカワ	淡						3	3	5	9	14	17
			モツゴ	淡		NT			2	206	208	11	214	225	433
			ニゴイ属	淡					16	14	30	10	7	17	47
	ナマズ	ナマズ	ナマズ	淡					0		2		2	2	
	ボラ	ボラ	ボラ	汽海				20	20				0	20	
	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	淡	VU	VU		10	10	3	3	6	16		
	スズキ	サンフィッシュ	ブルーギル	淡			○	1	2	3		11	11	14	
			キチヌ	汽海				1	1				0	1	
			カワアナゴ	回		NT		1	1	1	2	2	2	3	
ヒナハゼ			汽海						0	7	7	7	7		
		シマヒレヨシノボリ	淡	NT	NT		15	15	30		6	6	36		

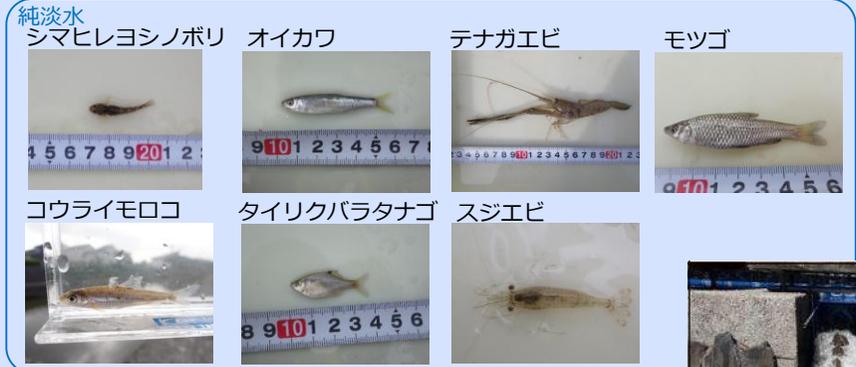
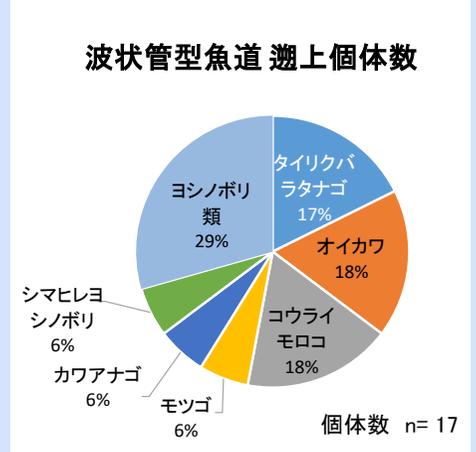
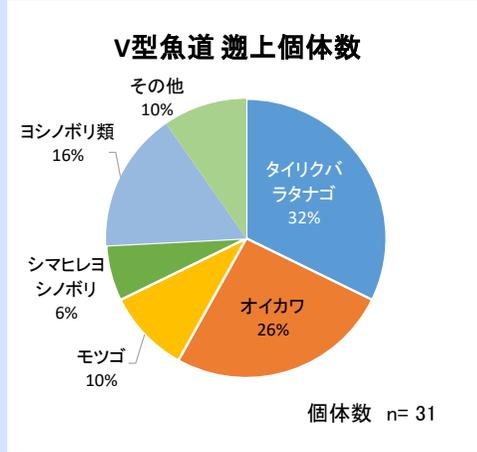
魚道の設置【地域住民・大学・県】

概要 環境
教育 まとめ

仮設魚道① 短水路型



a) V型魚道 b) 波状管型魚道



課題 魚道内の流速（魚道勾配 1 : 3）

仮設魚道② 長水路型

魚道勾配 1 : 1 0



遡上したニホンウナギ



遡上したカワアナゴ



緩勾配かつ低流速の構造がこれら魚類の遡上を促進

魚道の設置【地域住民・大学・県】

概要 環境 教育
まとめ

正法寺川 生物（魚類）調査結果表（R1～R5）

綱	目	科	種	生活型	希少種		国外外来種	R1夏季			R2夏季			R3夏季			R4夏季			R5夏季			合計 (R1～R5)											
					環境省R/L	徳島県R/L		St.1	St.2	総計	St.1	St.2	総計	St.1	St.2	総計	St.1	St.2	総計	St.1	St.2	総計												
硬骨魚	カライワシ	イサゴイ	イサゴイ	汽流					0	1	1							0	1	1			0		0	2								
	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	回	EN	留意			0		0	14	14			0	0	8	8	1	1	61	61	1	1	85								
	ニシン	ニシン	コノシロ	汽流					0		0										2		0		0	2								
	コイ	コイ	コイ	コイ	液				1	1	1	1			0	1	1	5		0		0		0		0	8							
			ゲンゴロウブナ	液	EN		29	29		0		0		7	7	3	9		0	9	17		0	2	2	2	64							
			ギンブナ	液			2	2	4	4	4	1	3	4	6	6	12	2	7	1	2	7	1	10	36	2	3	5	8	4	12	91		
			フナ属	液						0		0				0	3	36	1	67	86		0	1	1		0	123						
			ヤリタナゴ	液	NT	NT				0		0		2	2		0		2	3		0		0		0	0	5						
			カネヒラ	液		留意				0		0		2	2		1	1	2	3		0		0		0	0	6						
			シロヒレタビラ	液	EN	留意				0		0	1	1		0		1		0		0	2	2		0	0	4						
			タイリクバラタナゴ	液			○	8	265	273	2	177	179	1	54	55	11	46	57	2	453	630	42	89	1	45	71	1	27	28	49	210	259	1641
			ハス	液	VU					0		1	1				0	3	3		6	6		0		0		0	0	10				
			ワタカ	液	CR					0		0			1	1		0		0	0		0		0		0	0	1					
			オイカワ	液				3	3	5	9	14		10	10	19	42	61	17	51	119	1	140	236	4	11		0	20	3	23	477		
			モツゴ	液	NT			2	206	208	11	214	225	53	53	1	24	25	1	92	118	4	6	1	56	81	2	68	70	45	92	137	923	
			ニゴイ属	液				16	14	30	10	7	17	2	2	15	7	22	35	3	52		1	4	36	1	37	1	1	39	39	204		
	コウライモロコ	液		留意				0		0		20	20		7	7		4	6		0	2	7	7	7	7	0	47						
	ドジョウ	ドジョウ	液	NT	VU				0		0				0		0		0		0		0		0	1	1	1						
	ナマズ	ナマズ	液						0	2	2				1	1	1	1		1	1	1	1	1	0	1	1	7						
	トゲウオ	ヨウジウオ	汽流						0		0				0		0		0		1		0		0	0	1							
	ボラ	ボラ	汽流				20	20		0	77	77	13	13		13	13	15	311	315	16	41	138	138	57	57	676							
	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	液		○			0		0				0	2	2		0	1		2		0	2	0	2	6						
			グッピー	液		○			0		0				0	9	9		0		0	0		0	0	0	0	9						
	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	液	VU	VU		10	10	3	3	6	1	1	8	10	18	6	1	76	8	76	15	9	202	0	14	20	34	423				
			ヒメダカ	液											1													0						
	スズキ	スズキ	スズキ	汽流					0		0			0	5	5	2	4	6	31	2	4	2	2	2	8	8	54						
			サンフィッシュ	ブルーギル	液			○	1	2	3	11	11			0	11	17		1	1	15	73	243	2	2	26	107	133	410				
			オオクチバス	液			○			0		0			0	0	2	2		0		0		0	0	1	1	3						
			ヒイラギ	ヒイラギ	汽流					0		0			0	0		18		0		17		0	0	0	0	35						
クロサギ			ダイミョウサギ	汽流					0		0			0	0		1		0		0		0	0	0	0	1							
タイ			クロダイ	汽流					0		0			0	0		0		0		1		0	0	0	0	1							
シマイサキ			キチヌ	キチヌ	汽流				1	1		0			0		1		9	4		5		0	0	0	0	16						
				コトヒキ	汽流					0		0		0	3	3		0		0		1		0	0	0	0	4						
カワアナゴ			カワアナゴ	シマイサキ	汽流					0		0		0	3	3		0		0		1		0	0	0	0	7						
				カワアナゴ	回		NT		1	1	2	2				0	3	3	1	1		0	2	2	2	0	1	1	8					
				トビハゼ	汽流	NT					0		0			0		0		0		0		1		0	0	0	1					
	マハゼ	汽流						0		0	1	1			0	2	1	11		6	1	1	6	1	6	6	27							
	アシシロハゼ	回			留意				0		0			0	2	2		1		2		0	0	0	0	0	5							
	アベハゼ	汽流						0		0				0	17		1		28	1	1	1	0	0	0	0	47							
	チチブ	回						0		0				0	0		0		3		5		0	0	0	0	8							
	チチブ属	-						0		0				0	0		0		0	1	1	0	0	0	0	0	1							
	スマチチブ	回						0		0				0	0		0		0	0	1	1	0	1	0	0	1							
	ヒナハゼ	汽流						0	7	7				0	0		5		0	7	15		0	3	3	0	30							
	シマヒレヨシノボリ	液		NT	NT		15	15	30	6	6	3	4	7	11	11	5	6	71	1	161	219	1	25	101	33	13	46	1	7	8	499		
	ウロハゼ	汽流							0		0			0	0		4		2		8		0	0	0	0	0	14						
	ツマグロスジハゼ	汽流			NT				0		0			0	0		0		0		3		0	0	0	0	0	3						
	スミウキゴリ	回							0		0	3	3		0		0	2	2		0	7	7	0	0	0	12							
	ウキゴリ	回			NT				0		0				0		0		1	1		0	0	0	0	0	0	1						
	ピリンゴ	回							0		0				0		0		44	53		0	1	1	0	0	0	54						
	タイワンドジョウ	カムルチー		液			○			0		0		1	1		0		1	1		0		0	0	0	0	0						

魚道の設置【地域住民・大学・県】

概要

環境

教育

まとめ

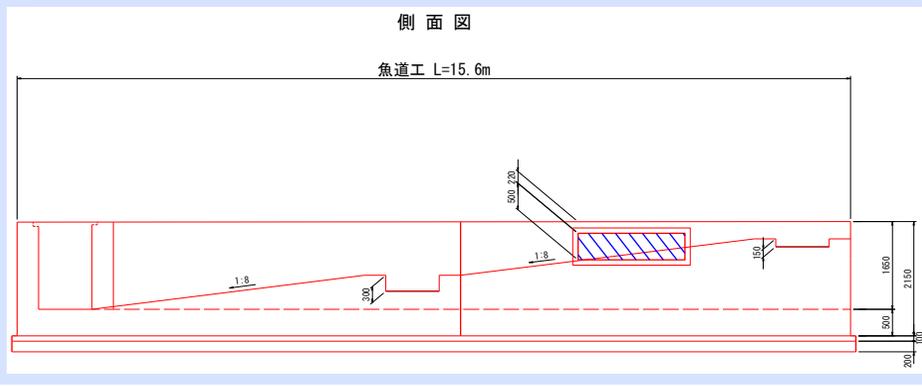
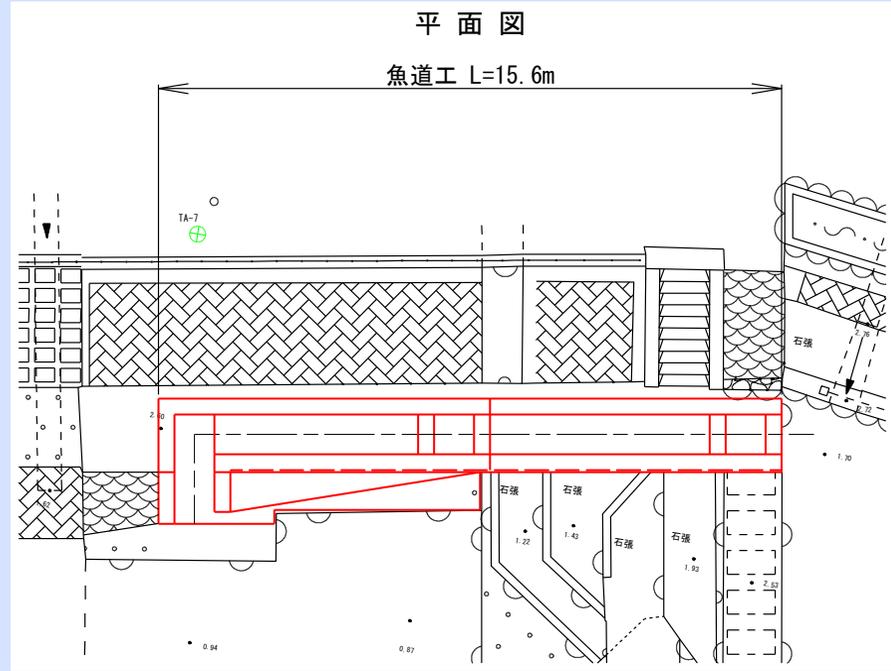
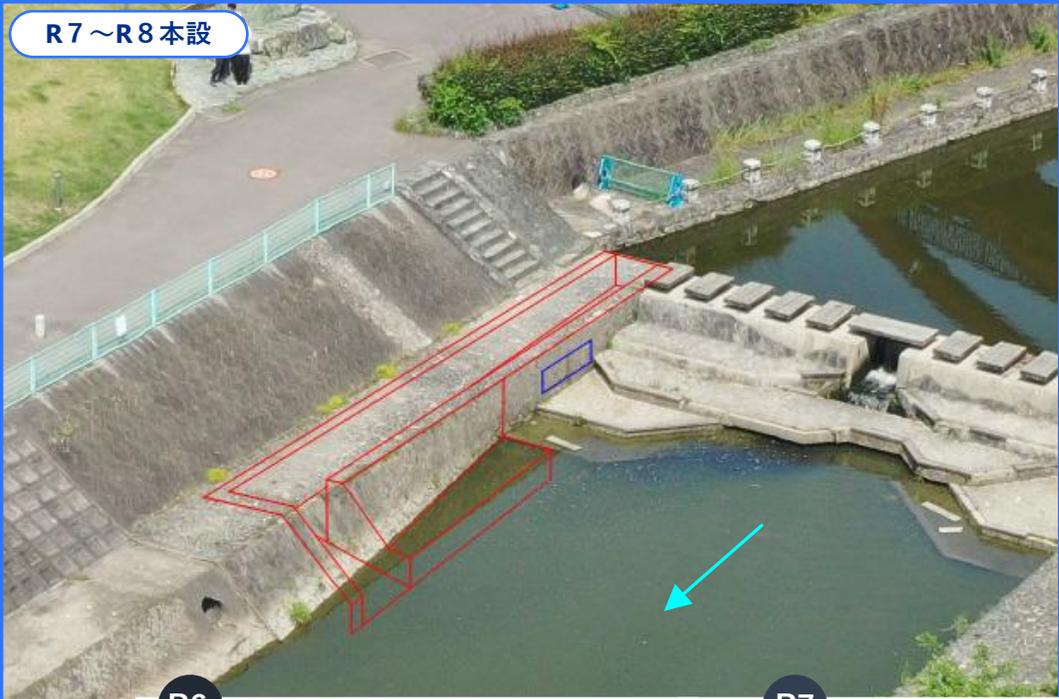
R3 仮設①



R5 仮設②



R7~R8 本設



R6

魚道の設計完了

R7

非出水期に向け発注
→ 着工

R8

R8 に完成予定
→ 効果を調査

目標とする将来像の実現に向けて

概要	環境
教育	まとめ

各主体の役割

民官学一体となって取組を推進



正法寺川流域水管理行動計画の推進にあたっては、地域住民、大学、行政などすべての主体が一体となってそれぞれの役割に応じて積極的に取り組むことが必要。



徳島大学・徳島県



正法寺川を考える会
地元小学校



藍住町・徳島県

アドバイザー

- 徳島大学環境防災研究センター 上月教授

地域の関係団体

- 正法寺川を考える会

調査設計関係者

- 株式会社フジタ建設コンサルタント

行政

- 国土交通省、藍住町

第30回 水 シンポジウム 2026 とくしま

悠久の大河と歩む阿波の“刻”が語る
～治水の功がもたらす恵みと未来への想い～

シンポジウム	令和8年10月27日 (火)
現地見学会	10月28日 (水)